

在米日系企業における現地社員の給与・福利厚生に関する調査 2018 年度調査結果サマリーレポート

Pasona N A, Inc. では、今年も在米日系企業様を対象に、「現地社員の給与・福利厚生に関する調査」を実施いたしました。本年は福利厚生、従業員数の増減や昇給率、離職率等を調査項目といたしました。調査結果の昇給率と医療保険に関する調査概要は以下の通りでございます。

調査概要

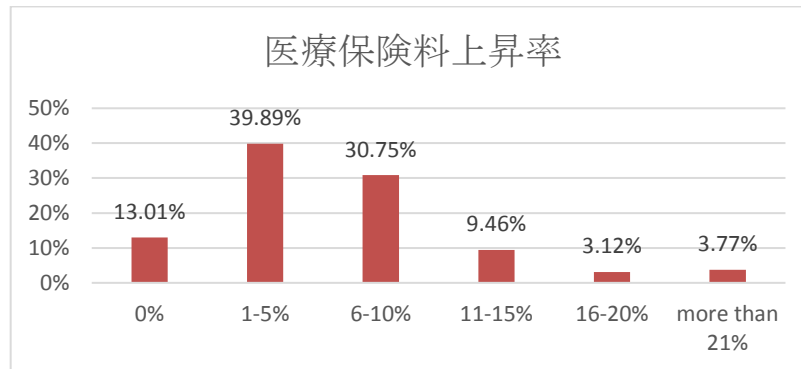
調査対象：	在米日系企業
調査方法：	オンライン調査
調査期間：	2018 年 1 月 15 日～1 月 30 日
有効回答数：	1,016 社
調査実施：	Pasona N A, Inc.

昇給率

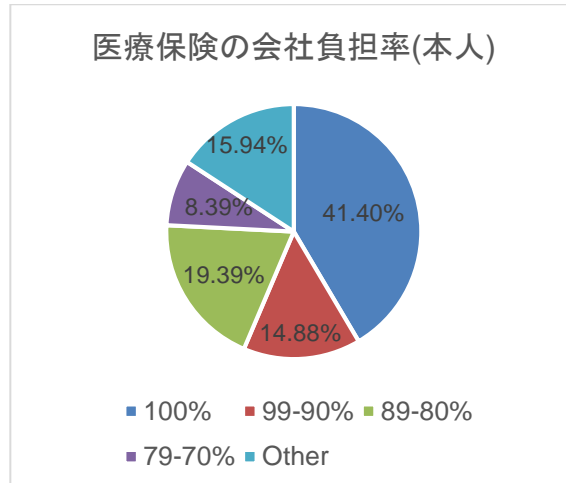
	2016 年実績	2017 年実績	2018 年予測
昇給率	3.41%	3.44%	3.18%

2017 年の平均昇給率実績は 3.44%であり、昨年の予測値である 3.35%より 0.09 ポイント上回る結果となりました。2018 年の予測昇給率は 3.18%と数年ぶりに前年数値より低下しています。引き続き 3%を超える高水準ですが若干の市場の停滞可能性が見込まれ、2018 年実績、2019 年の予測が注目されます。

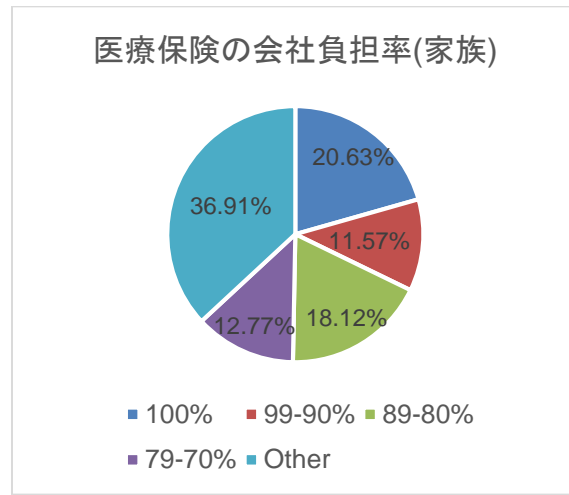
医療保険



2017 年の医療保険料上昇率は上昇率 1-5%の企業が 39.89%と、昨年の 39.34%とおおよそ同水準でした。上昇率 6-10%の企業は 30.85%と昨年の 26.68%を 4.17%大幅に上回る結果となり、例年に引き続き医療保険料は上昇傾向が見られます。

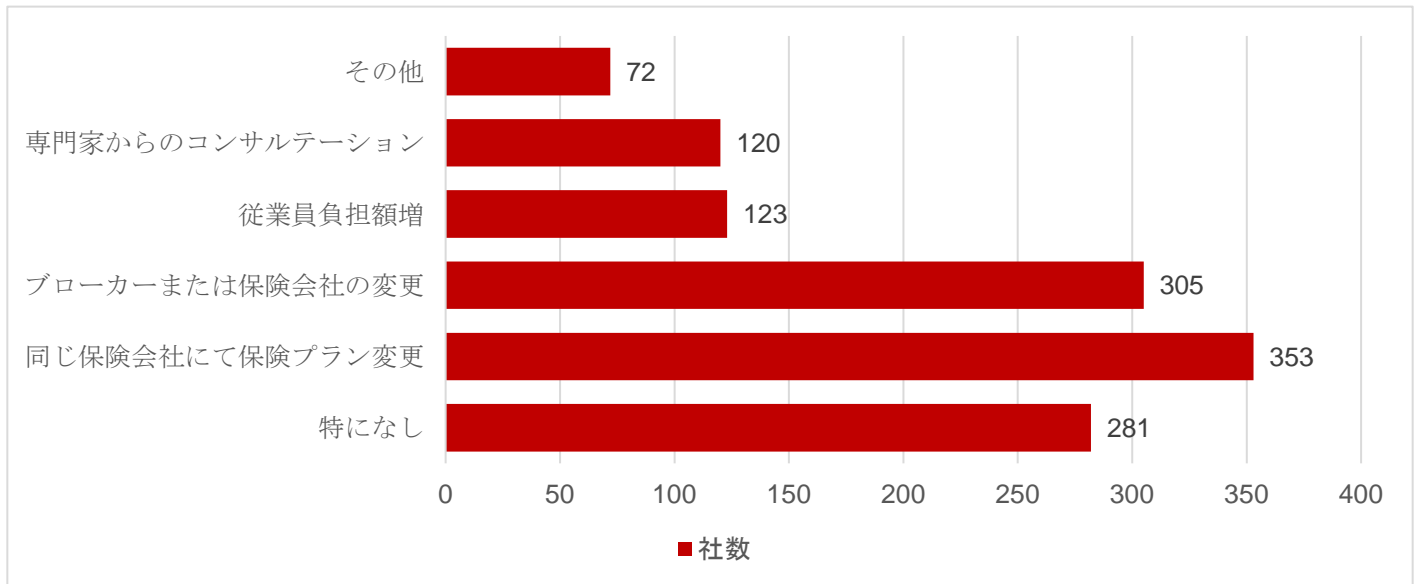


医療保険の会社負担率(家族)



昨年と比べ、医療保険の会社負担率は、従業員本人の保険を100%負担する企業が約6ポイント減少しました。保険料上昇の影響で負担割合を抑えている傾向が見られます。その他、80%以上負担する企業の割合は全体の7割超という結果でした。

保険料の負担増を抑えるための対策



同じ保険会社にて保険プランの変更を行ったり、ブローカーまたは保険会社そのものを変更し、保険料の負担増を抑えているようです。